



■ 神奈川県出身 法学部 1年

国土交通省に入り、
豊かな暮らしの実現へと貢献したい。

Q 維持会奨学生として思うことは？

維持会の皆様のご支援や様々な人たちの支えによって慶應義塾に通うことができ、恵まれた環境の中で学び続けられているということを改めて実感し、大変身が引き締まる思いがします。維持会奨学生としての誇りを持ち、その名に恥じぬように、慶應義塾における学生生活を有意義なものにしていきたいです。そのために、受け身になることなく、何事にも全力で取り組み、様々なことに積極的にチャレンジしていきたいと考えています。また、慶應義塾で学んだ教養や経験を活かし、将来社会で活躍できるような人材になり、いつかは自分が支援する立場になれるよう精進を重ねていく所存です。

Q 一番興味のある授業は？

私は以前から中国の歴史に興味があったので、大学では中国という国をもっと知ることができるような授業を取りたいと考えており、中国の地域文化論の授業を取っています。授業では、現代中国の社会構造と政治構造を扱っていて、どういう経緯で今の中国があるのかなど、様々なことを学んでいます。また、独学ではなかなか学ぶことのできない面白いエピソードや、当時の中国人の考え方なども授業の中で取り上げるので、楽しく学ぶことができます。授業だけではなく、文献も積極的に読み、さらに知識を深めていきたいと考えています。

Q 課外活動で力を入れていることは？

霞会という学術系のサークルで民法の勉強をしています。先輩がとても分かりやすく教えてくれ、質問も気軽に答えてくれるので、難しい内容も乗り越えていくことができます。堅苦しすぎないバランスのとれた雰囲気の中で勉強ができ、とても有意義な時間を過ごせています。

Q 慶應義塾の良いところは？

慶應義塾は福澤先生の理念のもとに、文系でも実験科目があるように、文理科目関係なく幅広く学べることに加えて、専門的なことも熱心に学ぶことができる環境が整っています。さらに、何かしらの夢を持ち、そこに向かって努力している仲間たちにも恵まれています。そういう仲間たちと日常的に意見交換できるのは、とてもプラスになると感じています。また、サークル活動などを通して他学部の人たちや自分とは違う生活環境にある人とコミュニケーションをとる機会も多く、様々な考え方や将来の夢などを持つ人と出会うことができます。このような強みがある中で、日々新しい刺激を受け取ることでできる最高の環境だと思います。

Q 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

大学在学中に少なくとも一度は留学してみたいと考えています。そのために、大学の授業だけではなく、日頃から言語能力の向上に努めていきたいです。留学する時には、言語の習得よりも、異文化に直接触れ、様々な人とコミュニケーションをとり、自分にない考え方や価値観などを知ること、自らの視野を広げることを重要視していきたいと考えております。また、課外活動で民法を学んでいることを生かし、宅地建物取引士の資格に挑戦してみたいと考えています。

Q 卒業後の進路、将来の夢は？

都市計画や街づくりに興味があるので、そういった分野に国というレベルで関わることでできる国土交通省に入ることが将来の夢です。国土交通省は私たちの近所の道路や川など日常生活の身近なところで深く関わっており、様々な人の豊かな暮らしの実現へと貢献できると考えたことも、目指す理由の一つです。この夢の実現のために、公務員試験の勉強をするのはもちろんのこと、人に分かりやすく具体的に物事を説明できる能力や様々なことに関してバランス感覚を身につけていきたいです。